第218回 津久井の歴史こぼれ話を語る会

北条・武田の駆け引きと境目の城 “津久井城”

語り手　木村 弘樹 さん

（相模原市立博物館、学芸員(歴史担当)）

日　時：令和2年4月19日（日）午後2時 ～ 4時30分 (開場 午後1時30分)

会　場：相模原市立城山公民館 3階多目的室3　定員60名(先着順)予約は不要です。

(相模原市緑区久保沢2-26-1 JR橋本駅北口より神奈中バス「三ヶ木」行きで「城山総合事務所入り口」下車徒歩10分)

参加費：500円（資料代）　＊ご夫婦参加はペアで500円。中高生、大学生は無料です。

三増合戦戦場跡

築井古城記碑

戦国大名小田原北条氏と甲斐武田氏の外交戦略、駆け引き、そしてその境目の城に位置し攻防の舞台として登場する“津久井城”などについてお話しします。

主催：城山地域史研究会　会長　山口 清　　事務局　三宅（090-3219-2805）

次回（第219回）：6月21日（日）午後2時～　　会場：城山公民館大会議室（予定）

語り手　大野敬(さとし) さん（横浜国立大、都市科学部・建築学科　教授）

演題：『津久井・相模原地区の古民家と人々の暮らし（仮題）』